

福生市議会だより

FUSSA

No.190

発行 福生市議会
平成25年10月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成25年 第3回定例会

平成24年度決算を認定

☆オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書を提出

主な内容

可決された案件	2面
平成24年度決算審査	3面
一般質問	4~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

平成25年第3回定例会は、9月2日から9月26日まで会期25日間で開催され、18人の議員による一般質問が行われ、条例改正など市長提出議案15件、委員会提出議案3件、陳情3件などが審議されました。

本会議の経過

▼1日目(2日)は、一般質問の通告人数や通告時間、付託された議案を審査する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を25日間と決定しました。

▼2日目(3日)は、5人の議員が、一般質問を行いました。

▼3日目(4日)は、6人の議員が、一般質問を行いました。

▼4日目(5日)は、1人の議員が、一般質問を行いました、18人の議員の一般質問が終了しました。

続いて、市長から提出された議案の提案理由の説明後、所管の委員会に付託されました。なお、東京たま広域資源循環組合規約の変更については、慎重審議の上、即決で可決されました。

▼5日目(26日)は、最終日で、委員会へ付託された議案15件について、それぞれ可決・認定及び同意しました。

また、委員会提出議案3件(意見書提出)を可決し、新たに提出された陳情1件を含めた陳情3件のうち、1件は不採択とし、他の2件については、継続して審査することとなり、今定例会を終了しました。

委員会提出議案第5号 「地方税財源の充実確保」を求める意見書(要旨)

厳しい財政状況が続く中、市が住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。よって、国においては、次の事項を実現されるよう強く求める。

- 1 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について
- (1)地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。(2)特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。(3)財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。(4)地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。(5)地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは避けること。
- 2 地方税源の充実確保等について
- (1)地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5:5」とすること。その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。(2)個人住民税は、その充実確保を図るとともに、政策的な税額控除を導入しないこと。(3)市町村の基幹税目である固定資産税の安定的確保を図ること。特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。(4)法人住民税は、均等割の税率を引き上げるなど、(5)自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。(6)ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとつて貴重な税源となつていくことから、現行制度を堅持すること。(7)地球温暖化対策と税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)

委員会提出議案第6号 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書(要旨)

温室効果ガスの削減は、地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きい。地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や再生可能エネルギーの活用等の取り組みを、山村地域等の取り組みを、山村地域の実施することが不可欠であるが、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、その結果、山そのものが荒廃し、自然災害等の脅威に国民の生命財産が脅かされる事態が生じており、これを再生させると共に、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源確保を講ずることが急務である。

よって、福生市議会は、政府及び国に対し、自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図ることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油炭素の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築の実現を強く求める。

委員会提出議案第7号 CVI-22オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書(要旨)

7月29日付け、米太平洋空軍司令官の記者会見時の発言として、CVI-22オスプレイの日本での配備先について、米軍横田基地が有力な候補地であり、日米両政府間で協議中であるとの報道があった。このような報道に接することはまことに遺憾である。

米軍横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、航空機の墜落や部品落下といった人命にかかわる事故への懸念など、住民の日常生活での不安が続いている。福生市は、米軍横田基地を抱える自治体として、基地騒音や事故に重大な関心を持っており、今般の報道内容が仮に事実とすれば、米軍横田基地への配備が検討されていること自体、極めて遺憾であり、福生市議会として容認できるものではない。

提出先 防衛大臣、外務大臣、防衛省北関東防衛局長

よって、福生市議会は、政府が米国政府に対し、CVI-22オスプレイの米軍横田基地への配備検討の撤回を強く働きかけるよう求める。

【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長



▲ゆるキャラグランプリ出陣式「毎日投票 よろしくたっけー☆☆」

11月8日まで投票受付中です!

可決された案件

◎全員賛成 ▼賛成多数

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、年金所得に係る特別徴収税額の平準化及び延滞金の割合の特例に関する規定等を改めるほか、固定資産評価員の設置に関する規定等を整備するもの。

◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、引用する規定について整備するもの。

◎福生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例に関する規定を改めるもの。

▽福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、上場株式等に係る譲渡所得等に係る国民健康保険税の課税の特例に関する規定等を整備するもの。

◎東京たま広域資源循環組合規約の変更について

危機管理体制の強化、業務効率の向上を図るため、事務所の位置を変更するもの。

▽平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)

債務負担行為の追加、都の補助金を活用した子育て・教育事業、道路照明灯のLED化事業、まちづくり寄附金、決算剰余金の積み立てなどを実施するにあたり、既決予算に歳入歳出それぞれ6億5795万6千円を追加し、予算総額を224億3428万7千円とするもの。

◎平成25年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

平成24年度の介護給付費等の確定に伴い、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計からの繰入金などの精算で既に受け入れている歳入済額と、介護給付費等の確定による実績額との過不足額の精算を行うため、既決予算に歳入歳出それぞれ6668万8千円を追加し、予算総額を34億8665万円とするもの。



▲第三中学校のランチルーム(せせらぎホール)

業者選定を行う中学校昼食業務委託の2件となっている。

▽平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成24年度の決算に伴い、繰越金及び療養給付費等負担金等の精算を実施するにあたり、既決予算に歳入歳出それぞれ1億4621万1千円を追加し、総額を70億9326万8千円とするもの。

◎平成25年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

平成24年度の介護給付費等の確定に伴い、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計からの繰入金などの精算で既に受け入れている歳入済額と、介護給付費等の確定による実績額との過不足額の精算を行うため、既決予算に歳入歳出それぞれ6668万8千円を追加し、予算総額を34億8665万円とするもの。

◎平成25年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

平成24年度の決算に基づき、繰越金の追加及びその繰越金の基金への積み立てを行うため、既決予算に歳入歳出それぞれ5822万4千円を追加し、予算

総額を16億9056万円とするもの。

▽平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

予算現額は、歳入歳出ともに68億8894万5千円で、歳入決算額は69億2462万5771円で、前年度比2億727万2887円の増、歳出決算額は67億7841万2903円で、前年度比4855万6514円の増、歳入歳出差引残額は1億4621万2868円となった。

▽平成24年度福生市介護保険特別会計決算認定について

予算現額は、歳入歳出ともに33億5250万円で、歳入決算額は33億6520万9368円で、前年度比2億480万8209円の増、歳出決算額は33億279万6797円で、前年度比1億9079万1908円の増、歳入歳出差引残額は6241万2571円となった。

▽平成24年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

予算現額は、歳入歳出ともに9億8503万2千円で、歳入決算額は9億8596万1840円で、前年度比

1億146万145円の増、歳出決算額は9億7014万5482円で、前年度比1億574万335円の増。歳入歳出差引残額は1581万6358円となった。

◎平成24年度福生市下水道事業会計決算認定について

予算現額は、歳入歳出ともに18億619万5千円で、歳入決算額は17億1210万9097円で、前年度比1億2638万8833円の増、歳出決算額は16億2388万4451円で、前年度比2億5649万3088円の増、歳入歳出差引残額は8822万4646円となった。

◎福生市教育委員の任命について

加藤美子氏の任期満了に伴い、新たに加藤孝子氏を教育委員会委員に任命するもの。

陳情

今定例会の各委員会で審査された結果、不採択となった陳情は次のとおりです。

◆不採択

○生活保護制度及び保護基準に関する陳情書(25、2号)
(不採択理由)
本制度は就労支援や自立支援など多方面に検討すべき問題であり、関連した法律の改正の見込みがあることから、意に沿いがたい。

討論

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●平成24年度福生市一般会計決算認定について
反対
基地交付金増の働きかけ不足、交付金依存の財政体質から来る市の展望の課題、の不用額を残せたことを評価し、賛成する。
賛成
補助金の活用、税外収入の確保に努め、経常経費、人件費削減等の努力は経常収支比率を向上させた。福祉バスなど高齢者、障害者の対策やほかの諸課題に対し全職員が取り組む努力を評価し、賛成する。
●平成24年度福生市一般会計補正予算(第2号)
●平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
●平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

「議会日誌」

7月	1日	全国市議会議長会基地協議会 正副会長・監事、相談役会議 理事会、概算要求前実行運動 平成24年度決算審査(12日まで) 八高線八王子・高麗川間複線化 促進協議会総会及び要望行動 三多摩上下水及び道路建設促進 協議会正副会長・委員長会議 千葉県木更津市視察来市 瑞穂斎場組合協議会臨時会 全国市議会議長会研究フォーラム(11日まで) 東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会	23日	審議会 首都圏中央連絡道路建設促進 協議会総会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第3委員会
	3日	平成一回定例会(12日まで) 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会総会及び要望行動 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会正副会長・委員長会議 千葉県木更津市視察来市 瑞穂斎場組合協議会臨時会 全国市議会議長会研究フォーラム(11日まで) 東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会	24日	進協議会第3委員会 福生市民生委員推せん会 東京たま広域資源循環組合議 会全員協議会・臨時会 西多摩地区議長会監査・定例 会議
	5日	八高線八王子・高麗川間複線化 促進協議会総会及び要望行動 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会正副会長・委員長会議 千葉県木更津市視察来市 瑞穂斎場組合協議会臨時会 全国市議会議長会研究フォーラム(11日まで) 東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会	26日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	8日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会正副会長・委員長会議 千葉県木更津市視察来市 瑞穂斎場組合協議会臨時会 全国市議会議長会研究フォーラム(11日まで) 東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会	29日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	9日	東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第2委員会正副委員 長会議	30日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	11日	東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第2委員会正副委員 長会議	31日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	12日	東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第2委員会正副委員 長会議	1日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	16日	東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第2委員会正副委員 長会議	2日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	17日	東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第2委員会正副委員 長会議	7日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	19日	東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第2委員会正副委員 長会議	14日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
	22日	東京都後期高齢者医療広域連 合協議会説明会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会第2委員会正副委員 長会議	20日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			26日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			25日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			24日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			23日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			22日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			21日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			20日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			19日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			18日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			17日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			16日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			15日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			14日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			13日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			12日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			11日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			10日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			9日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			8日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			7日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			6日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			5日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			4日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			3日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			2日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会
			1日	三多摩上下水及び道路建設促 進協議会 三多摩上下水及び道路建設促 進協議会

平成24年度 決算の概要

今回の定例会に、平成24年度一般会計決算及び4つの特別会計決算が提出されました。

本会議では、一般会計決算については18名で構成する決算審査特別委員会を設置して付託され、9月9日から12日まで行われ、特別会計決算については建設環境委員会、市民厚生委員会に付託され、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

決算の特徴について

問 平成24年度決算の特徴について伺いたい。

答 決算規模は、歳入は230億8千万円で、前年度比で3.3%の増加、歳出は223億4千万円で、2.8%の増加となっている。この結果、実質収支は7億4千万円で、前年度に比べ1億2千万円の増となった。これは、経費節減に努めたことと、市税等の収入確保に意欲的に取り組んだ結果である。特に市税収納率は前年度比1.5ポイント増の95.4%となり、収納努力の成果が現れている。

収納率の向上及び徴収の実態について

問 調定に対する収入割

というのがあるが、この内容と、小・中学校それぞれの対象人数を伺いたい。

答 東日本大震災で被災した児童・生徒で、事情により住民票を被災地に置いたまま福生市の学校に通って就学援助を受けている人を対象に、東京都から補助金が出ているものである。小学校が6名、中学校が0名の合計6名が、この補助金の対象となっている。

国際化推進事業費について

問 国際化推進事業費の内容は。また、どのような観点からこの事業を始めたのか。

答 第4期総合計画の中にも、日本人と外国人がともに安心して生活できるまちづくりを推進するための「多文化共生と国際交流の推進」という施策があり、意識の啓発を目的として、講演会等の事業を実施しているものである。平成24年度は、明星大学の人文学部の教授を招き、「多文化共生の現状と課題について」をテーマに、職員向けの講演会を1回開催している。

被災児童生徒就学支援等事業補助金について

問 都支出金の教育費都補助金の中に被災児童生徒就学支援等事業補助金

おむつ等助成費及びおむつ等扶助費について

問 障害者福祉事業費のおむつ等助成費は平成23年に比べて件数が増えて

おり、老人福祉事業費のおむつ等扶助費は、件数が大幅に減少しているが、その理由は。

答 障害者のおむつ等助成費は、申請者数が増えたため、増となっている。一方、高齢者のおむつ等扶助費は、平成25年4月からの支給対象者の支給要件の見直しに伴い、常時臥床である対象者の状況把握に努めた結果、対象者減となったものである。

障害者日中活動サービス推進事業について

問 障害者日中活動サービス推進事業は昨年の新規事業で、10分の10の東京都の補助金だと記憶しているが、その点について確認したい。

また、この事業の内容について伺いたい。

答 平成24年度についても、東京都の補助金10分の10の事業となっている。内容としては、障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービス、就労移行支援、就労継続支援等を実施する社会法人等に補助金を出すものである。新たに事業所が認定されたため、事務報告書にも記載している。

次世代モビリティ活用モデル事業について

問 カーシェアリングの実証実験が引き続き行われているが、利用実績やCO₂削減等、ある程度数字も出てきており、そろそろ結論を出す時期ではないか。

答 平成24年度の年間の実績を重視し、平成25年度の上半期の実績を踏まえて、費用対効果を含め、利便性、公共性、公益性、将来性等を総合的に考慮して結論を出す必要がある。実証実験開始時には

農業委員会の体制と活動について

問 平成24年度の農業委員会の体制と活動について伺いたい。また、事務局はどのようにかわりを持っているのか。

答 福生市農業委員会は、女性を含めた7人の農業委員で活動している。

スクールカウンセラーの割り振りについて

問 福生市は平成24年度に全校でのスクールカウンセラー配置に取り組んだが、小・中学校それぞれ

児童や保護者への適切な対応ができるようになったと考えている。

る。定例会は月1回で、農地パトロールや、広報紙「福生市Farmer」の発行、農地ウォークというイベントなどを行っている。事務局は、地方自治法に定められた行政委員会事務局の位置づけだが、落花生の特産化など、協働に近い関係で取り組みを進めている。

これにより、教育相談に対する教師のスキルアップが図れ、また、市の教育相談室との連携により

れ合わせて5人の配置をどのよう割り振りを行ったか。また、学校現場の受け止めはどうか。

答 東京都派遣のスクールカウンセラー未配置の小学校3校に福生市独自のスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒及び保護者が日常的に相談しやすい体制を整えた。

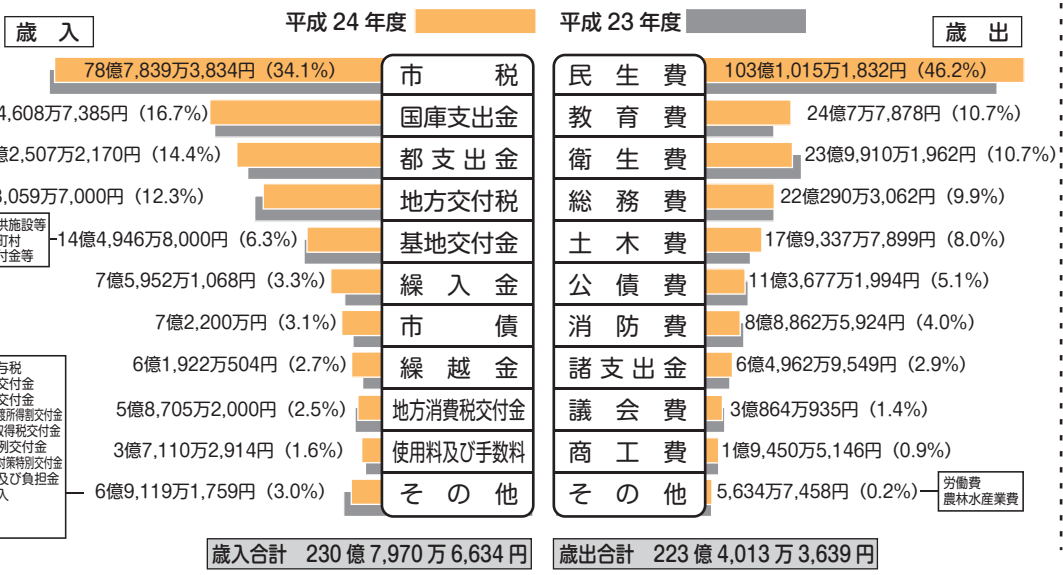


▲平成24年度一般会計決算を起立多数で可決

平成24年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	230億7,970万6,634円	223億4,013万3,639円	7億3,957万2,995円
特別会計			
国民健康保険特別会計	69億2,462万5,771円	67億7,841万2,903円	1億4,621万2,868円
介護保険特別会計	33億6,520万9,368円	33億0,279万6,797円	6,241万2,571円
後期高齢者医療特別会計	9億8,596万1,840円	9億7,014万5,482円	1,581万6,358円
下水道事業会計	17億1,210万9,097円	16億2,388万4,451円	8,822万4,646円
総合計	360億6,761万2,710円	350億1,537万3,272円	10億5,223万9,438円

平成24年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



音楽のまちづくりの取り組みと成果について

清水 義朋 議員

質問 本年3月に第4回「児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート」が開催されたが、音楽のまちづくりのこれまでの取り組みと成果について伺いたい。

清水 義朋 議員 するなどの成果も上げている。

教育長 市内の各学校は、福生市の表彰式や諸行事で演奏活動を行うなど、地域活動に積極的に貢献している。また、市内の中学校が東京都や東日本のコンクールで金賞を獲得



▲児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、11月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

犯罪行為である落書きが増えている現状を憂える

岩崎 百合子 議員

質問 市内に落書きが増え、まちの美観を台なしにしている現状をどう考えるか。



▲落書き防止の啓発看板

市長 落書きは、犯罪行為であり、まちの美観を損ね、市民や訪れる方々に不快な思いをさせる。市は落書き防止の啓発活動を行っており、また、福生警察署はパトロール等の予防を行い、警告看板を被害の多い地域から順次設置している。

小中学校の通学路の現状と今後の安全性について

町田 成司 議員

質問 第二小学校区域の通学路は、えるなど対策を計画的に進めていく。道路の幅が狭く危険だと思うが、平成24年度の通学路安全点検で改善要望の状況と今後の対策は。



▲安全対策の要望が多い二小通り

都市建設部長 第二小学校区域は、道幅が狭くてもスピードを出す車両が多く、十分な安全対策が必要だ。二小区域の改善要望は、23カ所で全体の34%を占めており今後、旧基準のガードレールをガードパイプに換

学校体育館等の非構造部材耐震化は進んだか

五十嵐 みさ 議員

質問 東日本大震災を受け、小・中学校施設の天井材、照明器具、内外装材等の非構造部材耐震化を緊急要望した。市はどう取り組んだか。



▲災害時の避難所としての役割も重要な市内小学校

教育長 市内小中学校の非構造部材の調査委託を予算化している。建築基準法施行令の改正や文部科学省の手引きが示されたので早急に調査を開始し、26年2月を目途に結果を取りまとめ、住民の避難所としての役割も考え迅速に対策を検討したい。

中学校給食を検討するにあたってのポイントは

末次 和夫 議員

質問 中学校給食の実施の採否を検討する際の判断基準となるポイントをどのように考えているか。



教育長 ランチルームの複数メニューの選択制による生徒の嗜好性の状況や、弁当併用ランチルーム方式による各生徒の昼食の喫食状況などの検証を行うことや、中学校給食の実施による社交性や協働の精神の涵養、健全な食生活や健康の保持増進等の効用等がポイントとなる。

市の結んだ地域包括連携協定の中身を伺う

田村 正秋 議員

質問 コンビニエンスストアと結んだ協定はどんな内容を持つのか。

田村 正秋 議員 観光情報発信から始めている。



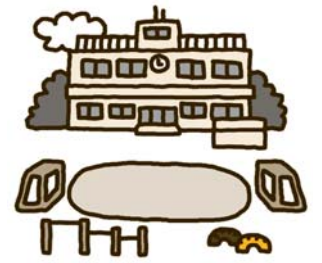
▲地域包括協定の締結式

市長 高齢社会を背景とした地域密着サービスの実施は、自治体、コンビニエンス業界双方にメリットがある。今回の協定は、開発商品が市のお土産ブランドに認定されたことをきっかけに、まず観光振興の分野で締結した。各店舗に市の観光コーナーを設け、名産品の開発や販売、

いじめの未然防止、早期発見について

武藤 政義 議員

質問 市内各校のいじめ撲滅実行計画が公表されているが、いじめの未然防止、早期発見についての具体的な対応策について伺いたい。



教育長 職員が休み時間等に各学年のフロアで、児童・生徒と語り合い触れ合う場を意図的に作り出すなど、教職員が連携して子どもとかわる機会を増やし、得た情報を共有することで、いじめの未然防止、

福生駅西口のまちづくりをどう進めるのか

大野 聡 議員

質問 福生市の表玄関である駅西口周辺の開発整備について、市長はどのように取り組んでいくのか。

大野 聡 議員 の整備など積極的に取り組んでいく。



▲福生駅西口駅前の様子

市長 平成24年に都市計画マスタープランを改定し、西口は中心拠点として高度利用を図り、複合的土地利用、空間形成を目指すとした。民有地内の整備には地権者、地元住民の主体的推進が必要であり、市は住民説明会の開催、周辺道路や広場

今後の在宅医療・介護・療養等の重要性について

柳川 英司 議員

質問 少子高齢化が進み、医療資源も限られる中、今後の福生市の医療体制として、在宅医療・介護・療養等の重要性について伺いたい。



市長 社会保障制度国民会議の報告書は、医療の機能分化、病院・施設から地域・在宅へという流れの構築が重要だと述べている。国の社会保障もこの流れで進むと思われ、福生市の在宅医療・在宅療養の重要性

子宮頸がん予防ワクチンの接種について

阿南 育子 議員

質問 今年度の接種者数は何人か。しい旨、掲出している。また、6月以降の動きを伺いたい。

市長 4月から7月までの接種者数は、初回接種者48人、2回目以降40人で、延べ88人となっている。6月14日に厚生労働省から積極的な勧奨をすべきでない旨の勧告が出され、市もホームページで、当該ワクチンの接種を積極的には勧めず、有効性とリスクを理解した上で接種してほ



▲市ホームページによる子宮頸がん予防ワクチン接種についての案内

公共施設などの照明のLED化推進を

青海 俊伯 議員

質問 公共施設の照明LED化を、環境行政の立場から共通仕様書を作成し所管の別なく進めてはどうか。

生活環境部長 大館市のLED化共通仕様書は庁内の地産地消検討プロジェクトチームにも参考として示し、よい点を福生市の行政にも反映させていきたい。また、LED化効果を比較できるように、各導入施設について測定を進めていく考えだ。



▲全ての照明がLED化となったわかぎり会館

国民健康保険税の値上げがさらなる滞納を招くのではないか

池田 公三 議員

質問 国民健康保険税課税世帯の内、年間所得200万円以下の低所得世帯が82%も占めている。平成24年度滞納額の大部分がこの世帯層による滞納である。平成25年度の値上げは、「払いたくても払えない」滞納者と生活困窮者を増やし、それが新たな値上げへの悪循環になる。

市民部長 平成22年度の国保税率の改定にあわせて、地方税法に規定

する最大限の軽減措置を実施した。



▲国民健康保険被保険者証 (見本)

片倉跡地内の荒れた熊川分水の保全整備は

杉山 行男 議員

質問 2年前、東京都に維持管理を要望すると答弁があった。この間、現場状況を確認し要望は行ったのか。

市長 市民憩いの場として、熊川神社前地区は整備を行ってきた。跡地内の分水は毎年8月に市民見学会が開かれ、昨年度は都市建設部職員も参加した。その時期以外の状況確認は、市はフェンス越しに随時行うことしかできない。今後は、所有者

である東京都に管理を要望していく。



▲熊川分水たんけん隊

本市のがん検診の概要と現状について

原田 剛 議員

質問 胃がんの発生原因の一つがピロリ菌であると政府は認めたが本市の胃がん検診の状況とピロリ菌検査の胃がんハイリスク検診を取り入れることができないか伺いたい。

市長 胃がん検診は、35歳以上の市民を対象に、バリウム投与によるX線間接投影方法で行っている。25年度の実施回数は8回で、広報にて募集している。胃がんハイリスク検

診は、他市の状況を注意深く調べる。



安全・安心まちづくりのための防犯カメラの設置について

堀 雄一朗 議員

質問 市川市や羽村市のように、街頭に防犯カメラを設置する自治体も増えている。平成22年第3回定例会では公園等への設置を検討するとの答弁もいただいているが、その後の進捗状況を伺いたい。

市長 犯罪の未然防止の観点から防犯カメラの設置を検討しているが、公園等の新設・改修時に防犯カメラ設置について検討し、必要性が認め

られた場所には設置を進めたい。



▲犯罪抑止のため設置されている防犯カメラ

オスプレイの配備等を許さぬことへの対処は

奥富 喜一 議員

質問 墜落・炎上の危険が高いオスプレイの飛来、訓練飛行も配備も許せない。どう対処する考えか。

市長 防衛省北関東防衛局から、MVオスプレイの飛来、訓練の情報提供はない。CVオスプレイの日本配備について米国での決定もない。

企画財政部長 5市1町で構成の横田基地周辺市町基地対策連絡会より、横田基地に配備検討の撤回を求

める要請書を外務大臣等へ送付した。



▲横田基地 (第5ゲート付近)

「くるみる ふっさ」の現事務所の場所について

大野 悦子 議員

質問 本来、観光案内所は駅に降り立ってすぐに立ち寄れるところにあるものではないか。以前の場所のほうがよかったとの声も聞かれる。

市長 観光案内のみならず、カーシェアリング等の先進的な事業の実証実験も同時に行う拠点としてある程度の広さが必要なことから、移転した。今後、ホームページ等での事業広報、周知、駅からの誘導、案内

サインの設置などに取り組みたい。



▲まちなかおもてなしステーション「くるみるふっさ」

次回定例会のお知らせ

平成25年第4回定例会は、12月3日(火)から12月20日(金)までを予定しています。

- ◆本会議 (予定) 午前10時開会
12月3日(火)~12月6日(金)及び12月20日(金)
- ◆常任委員会 (予定) 午前10時開会
12月10日(火)~12月12日(木)

市議会を傍聴しませんか

本会議・委員会とはどなたでも傍聴できます。傍聴の受付は会議の当日、市役所第2棟3階の議会事務局で行います。

福生市の祭りについての市の考え方は

串田 金八 議員

質問 福生市では1年を通してさまざまな祭りが行われている。このような祭りやイベントは福生市の貴重な観光資源であると考えているが、市の考え方を伺いたい。

市長 祭りを含めた多様な行事は貴重な観光資源であり、現在、シティセールス推進課が効果的に情報発信している。これにより市のイメージアップにつながり、多くの交

流人口が期待できると考えている。



▲今年も盛況の七夕まつり

平成25年 第3回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 町田 成司 (一問一答)	1 教育行政について (1)幼児教育の現状と今後について (2)通学路の現状と今後の安全性について	⑩ 青海 俊伯 (併用)	1 LED化推進について (1)道路照明灯のLED化工事について (2)公共施設等照明のLED化について 2 定住化対策について (1)福生市の目指す定住化への取り組みについて (2)政策実現に至るプロセスについて
② 末次 和夫 (一問一答)	1 中学校給食の検討について (1)検討のポイントについて (2)結論までのタイムスケジュールについて 2 歴史・公民中学校教科用図書の選定、採択について (1)次回の選定、採択に向けての検討状況について (2)改訂学習指導要領の要点及び目標について (3)評価項目等の見直しについて (4)平成23年度の調査委員会報告書及び選定協議会答申について	⑪ 杉山 行男 (一括)	1 片倉跡地と周辺等の整備について (1)シルク台計画の見直しについて (2)新奥多摩街道について (3)跡地内の熊川分水保全について 2 学校照明のLED化について (1)校庭照明及び体育館照明などのLED化について
③ 武藤 政義 (一括)	1 学校におけるいじめについて (1)いじめの未然防止、早期発見についての対応策について (2)精神のアンバランスから生じるいじめについて (3)保護者からの情報提供に対するの取り扱いについて (4)地域との連携について 2 学校における防災対策及びBCPについて (1)防災訓練及び避難訓練について (2)震災時の対応、震災後のBCPについて 3 校舎の老朽化について (1)校舎を維持管理していく上での考え方、今後の計画について	⑫ 堀 雄一郎 (併用)	1 入札・契約制度について (1)入札・契約制度と低入札の対応について (2)総合評価方式について 2 窓口業務と開庁時間について (1)時間外開庁について (2)地域会館やコンビニ等での諸証明発行について 3 安全・安心まちづくりについて (1)犯罪の傾向と件数の推移について (2)防犯カメラの設置について
④ 柳川 英司 (一括)	1 改正高年齢者雇用安定法について (1)改正高年齢者雇用安定法と公務員の関係について (2)市職員の高年齢者雇用安定法措置の現状と課題について 2 在宅医療・介護・療養等の推進について (1)今後における在宅医療・介護・療養等の重要性について (2)在宅医療・介護・療養等の現状と課題、方向性について	⑬ 大野 悦子 (一括)	1 七夕まつりを終えて (1)今年の取り組みの工夫は 2 防災について (1)我が街の安全は 3 「くるみるふっさ」について (1)現事務所の場所について 4 プラムボックスウイルスについて (1)その後の状況について
⑤ 清水 義朋 (一括)	1 横田基地について (1)垂直離着陸輸送機オスプレイについて 2 子育て支援対策について (1)未就学児への脳活導入について 3 教育行政について (1)音楽のまちづくりについて	⑭ 串田 金八 (一括)	1 福生の祭りについて (1)市の考え方について
⑥ 岩崎 百合子 (一括)	1 市内における落書きについて (1)まちの美観や犯罪被害について (2)公園及び道路における被害対応について (3)落書きに対する指導、教育について 2 薬物乱用防止指導について (1)市内における現状について (2)市民に向けた啓もう活動について (3)薬物乱用防止教育について	⑮ 阿南 育子 (一問一答)	1 緑の基本計画について (1)緑化の推進状況について 2 子宮頸がん予防について (1)現在の状況について (2)学校での取り組みについて 3 学校給食について (1)給食センターづくりの進め方について
⑦ 五十嵐 みさ (一括)	1 公園の管理について (1)委託に関する考え方と市職員や公園ボランティアとの役割分担について (2)福生公園と下の川緑地せせらぎ遊歩道公園について 2 マタニティマークとハートプラスマークについて (1)マタニティマークとハートプラスマークの市の取り組み及び公共施設での活用について 3 学校施設等の非構造部材耐震化について (1)小・中学校等の非構造部材耐震化の進捗状況と今後の取り組みについて	⑯ 池田 公三 (併用)	1 国民健康保険税値上げの影響について (1)値上げが生活の困窮、滞納との悪循環になっていないか (2)滞納者への差し押さえについて 2 生活保護基準引き下げの影響について (1)受給者からの声について (2)様々な施策への影響について (3)処分不服の審査請求について (4)引き下げ分をカバーする市独自の補助金について 3 中学校給食について (1)給食を中心とした食育教育について
⑧ 田村 正秋 (一括)	1 もくせい会館のエレベーター設置について (1)内容及び今後の日程について 2 地域包括連携協定について (1)今回の協定について (2)今後の協定のあり方について 3 ジュニアスポーツの育成について 4 教育行政について (1)いじめ対策について	⑰ 原田 剛 (併用)	1 高齢者の安全安心について (1)一人暮らし高齢者の見守り等について (2)要援護者システムについて (3)緊急通報システムについて 2 福生市清潔で美しいまちづくり条例について 3 市民の健康について (1)がん検診について (2)胃がん検診について (3)健康教育について
⑨ 大野 聰 (一括)	1 福生駅周辺のまちづくり等について (1)福生駅西口周辺の開発について (2)市道第1160号(宿橋通り)の整備について 2 指定管理者制度について (1)本年度で指定期間が満了する施設の現状等について (2)今後の取り扱い等の方針について	⑱ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)米軍機が米軍基地内のように、住宅地を飛行することについて (2)オスプレイの飛来、訓練、配備を絶対許さないことについて (3)横田基地公害訴訟及び飛行回数増加について (4)横田基地の米軍属等による暴行事件について (5)横田基地所属C-130輸送機の部品紛失について 2 自転車利用者の啓発看板について

委員会の審査から

建設環境委員会

9月17日に委員会が開催され、議案3件を審査しました。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 道路照明灯をLED化するにあたり、配置見直しなどは。

答 道路照明台帳をもとに再調査を行い、設置基準に沿った形で再配置を考えている。

◎平成25年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 繰越金が多く使用料は20mを使用した場合、月額1008円で、全国で安い方から6番目となっている。長寿命化計画に基づく管更生工事を予定しており、また起債残高も53億の元金があるた

め下げることは考えていない。
◎平成24年度福生市下水道事業会計決算認定について
問 使用料収入減について、横田基地西地区の大幅減の要因は。
答 基地側に照会したところ、平成23年度に米軍所轄の住宅改修工事が行われ使用料が多く、平成24年度には工事が終了したこと。また省エネ効果も合わせて減になった。
問 下水道管理システムデータ入力委託の詳細は。
答 平成23年度の実績を確定申告したことによるものになるが、22年度との比較によるもので、要因としては、横田基地からの使用料は免税となることが考えられる。
以上3件、原案のとおり可決・認定しました。

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案及び陳情と、継続審査となっていた陳情の審査が9月17日、18日、19日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だより編集等で6回行われました。

それから、横田基地対策特別委員会、定住化対策特別委員会が9月20日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

歴、修繕内容も入力可能となった。



▲有料となった電気自動車用急速充電器

市民厚生委員会

9月18日委員会が開催され、8件の議案を審査

し、原案のとおり可決及び認定されました。

また、1件の陳情が不採択となりました。

◎福生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
問 延滞金の利率が下がることよっての影響は。
答 もともとの保険料自体が安いので、利率が下がっても、ほとんど影響はない。

◎福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
問 上場株式会社等の配当所得及び譲渡所得、それと特定公社債の利子所得及び譲渡所得との損益通算が行われる改正の影響は。
答 発生する事例として非常に少なく、国民健康保険加入者の平均所得の増減や、国民健康保険税の増減率まで影響はない。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)
問 認可保育所の保育士の処遇改善の対象者は
答 法人の理事を兼ねた施設長は対象外とし、保育所に勤務する全ての職員になる。職種は、保育士、看護師、栄養士、調理員、用務員等の常勤・非常勤が対象。

◎平成25年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
問 前年度繰越金が、予備費として財源確保している理由は。
答 医療費の伸び率の推移を見ながら、保険給付費の財源等が不足した場合作るため。

◎平成25年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)
問 介護給付費準備基金積立金の目的は。
答 年度ごとの歳入歳出を精算して残額が生じた場合、支払い不足が生じた介護給付費に使用する目的で準備基金は積み立てている。

◎平成24年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
問 レセプト確認事務委託料についての効果は。
答 再審査請求の重複請求及び医療費の妥当性について再審査の結果、大きく減額された。



▲私立すみれ保育園

◎平成24年度福生市介護保険特別会計決算認定について
問 介護保険料が、高い負担となった理由は。
答 介護サービスを利用される方が多いことが主な原因となっている。

◎平成24年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について
問 一般会計繰越金は、どのような基準で一般会計に戻すのか。
答 予算での歳入歳入は同額にするため、その差額を歳出補正に含め、一般会計に戻した。

◎生活保護制度及び保護基準に関する陳情書
意見 生活保護基準の引き下げは、既に実施され、数多くの施策に影響は出ているものの、国全体でカバーするという動きなので不採択にしてほしい。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)
問 「たっけー☆☆」の図柄入りのオリジナルナンバープレート(イメージ)



▲「たっけー☆☆」の図柄入りのオリジナルナンバープレート(イメージ)

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

◎平成24年度福生市介護保険特別会計決算認定について
問 介護保険料が、高い負担となった理由は。
答 介護サービスを利用される方が多いことが主な原因となっている。

◎平成24年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について
問 一般会計繰越金は、どのような基準で一般会計に戻すのか。
答 予算での歳入歳入は同額にするため、その差額を歳出補正に含め、一般会計に戻した。

◎生活保護制度及び保護基準に関する陳情書
意見 生活保護基準の引き下げは、既に実施され、数多くの施策に影響は出ているものの、国全体でカバーするという動きなので不採択にしてほしい。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)
問 「たっけー☆☆」の図柄入りのオリジナルナンバープレート(イメージ)

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)
問 認可保育所の保育士の処遇改善の対象者は
答 法人の理事を兼ねた施設長は対象外とし、保育所に勤務する全ての職員になる。職種は、保育士、看護師、栄養士、調理員、用務員等の常勤・非常勤が対象。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)
問 認可保育所の保育士の処遇改善の対象者は
答 法人の理事を兼ねた施設長は対象外とし、保育所に勤務する全ての職員になる。職種は、保育士、看護師、栄養士、調理員、用務員等の常勤・非常勤が対象。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)
問 認可保育所の保育士の処遇改善の対象者は
答 法人の理事を兼ねた施設長は対象外とし、保育所に勤務する全ての職員になる。職種は、保育士、看護師、栄養士、調理員、用務員等の常勤・非常勤が対象。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)
問 認可保育所の保育士の処遇改善の対象者は
答 法人の理事を兼ねた施設長は対象外とし、保育所に勤務する全ての職員になる。職種は、保育士、看護師、栄養士、調理員、用務員等の常勤・非常勤が対象。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第2号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)
問 認可保育所の保育士の処遇改善の対象者は
答 法人の理事を兼ねた施設長は対象外とし、保育所に勤務する全ての職員になる。職種は、保育士、看護師、栄養士、調理員、用務員等の常勤・非常勤が対象。



平成25年東京国体 ご支援・ご協力ありがとうございました



9月29日(日)～10月1日(火)を会期として、福生野球場・市営競技場において、第68回国民体育大会ソフトボール競技(成年女子)が行われました。日本のトップレベルの選手たちのプレーで延べ2万人を超える来場者の皆さんを魅了しました。

また、大会運営では、様々なかたちで多くの市民の皆さんが参加し、大会を支えていただき「市民の手による国体」となりました。

皆さんのご支援・ご協力により、大会を成功させることができたことに感謝します。



▲大会運営を支えてくれたボランティア



▲連日熱戦が繰り広げられた試合



▲3位入賞を果たした東京都代表チーム

【問合せ】 国体推進室 042-551-1750

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけたと思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像

※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ

(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>) にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。 電話 042-551-1523

○デジタイズ (DAISY) とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

定住化対策 特別委員会

9月20日に委員会が開催されました。主な内容は次のとおりです。

1. 定住化の定義について

6月定例会の委員会決定した今後の検討を進めるうえで、基本的な方針について議論しました。

2. 住宅マスタープランについて

今回の委員会から委員全員によるフリートーク方式で全委員から活発な意見が出されました。

現在、行政側が策定の検討を進めている「住宅マスタープラン」について、当委員会としてもマスタープラン策定の検討内容について提言等をしようとの意見が出されました。

そのため、理事者からマスタープラン策定の、今後の検討日程について説明を受け、結果的に、市側のまとめまでの日程が短いため、12月定例会前に委員会を開催することが必要だとの意見が出され、次回委員会を10月15日に開催することを決定しました。さらに、12月定例会前に、あと1、2回の委員会を予定することになりました。



▲定住化対策特別委員会研修会(25.8.7)

委員から基本的な市側の考え方について質疑があり、市長、副市長、教育長からそれぞれから基本的な考え方について答弁がありました。

当委員会としては、定住化の定義について、市側の基本的な考え方と同じ考え方を基本としよう

と意見が出され、検討の結果、「定住化とは、人口の誘致と定着を図ることであり、定住化対策は

さまざまな施策により住むまちとしての魅力を高めること」と定義づけました。今後、この考え方を基本として、当委員会が最初に検討する「住宅対策について」議論することになりました。

特別委員会活動から...

横田基地対策 特別委員会

9月20日に委員会が開催され、6月以降の横田基地に関する情報等について協議を行いました。

9月13日、滑走路北端に隣接する「航空保安無障害地帯」の土地、約6m²の使用条件の変更。8月1日、一部土地の自衛隊通信管路用地としての共同使用、及び観覧席・グラウンド等、整備の承認。9月5日、建物、工

1. 日米合同委員会合意について

6月13日、滑走路北端に隣接する「航空保安無障害地帯」の土地、約6m²の使用条件の変更。8月1日、一部土地の自衛隊通信管路用地としての共同使用、及び観覧席・グラウンド等、整備の承認。9月5日、建物、工

以上4件の報告がありました。

7月3日、30日に横田基地の軍人・軍属等、50名以上の有志が、南公園、市営競技場、かに坂公園等の清掃を行いました。

5. 横田基地有志による公園清掃等ボランティア活動について

7月3日、30日に横田基地の軍人・軍属等、50名以上の有志が、南公園、市営競技場、かに坂公園等の清掃を行いました。

6. その他

米軍属等による暴行被疑事件、C-130輸送機の部品紛失、横田基地所属米軍人による交通事故等、要請3件。

航空総隊戦術官の新設、及び航空自衛隊横田基地の部隊改編について、説明がありました。

2. 横田基地における演習、訓練について

7月15日～17日に運用即応演習。8月19日～23

日に編隊飛行訓練及びパラシュート降下等訓練が実施され、訓練の期間中、騒音苦情が計5件ありました。

3. 横田基地内での不発弾の発見・処理について

7月16日、東地区の工事現場で第二次世界大戦当時の不発弾2発が発見され、翌日、不発弾処理班により、安全な場所

で爆破処理されました。

編集後記

9月定例会は、猛暑の夏がそのままの中で始まりましたが、26日の最終日には、朝夕の涼しさの中で、夜は虫の声を聴くようになっていきました。

今定例会では、質問内容が通告からずれてしまふことがありました。議員の発言は保障されていますが、市民等に周知した通告からずれないよう注意が必要です。また、理事者側にもあいまいな答弁があり、もう少し緊張感をもって答弁をしていただきたいと思います。

福生市は東京国体の成年女子ソフトボール競技を開催し、東京都チームは3位入賞でした。優勝は2年連続群馬県チームでした。

開催期間中2万人を超える方に足をお運びいただきました。

おもてなしコーナーを訪れた来場者からは、福生はよいです。五輪も福生でやって下さいとお声をかけていただいたと聞いております。

5年かけて準備をしてきた関係者、ボランティアの皆様には心から感謝申し上げます。

福生市民の底力を、議会もしっかりと受け止めて開かれた議会をつくってまいります。